

平成30年度「重症難病患者コミュニケーション支援講座 in 日向」のご案内

ALSなどの神経難病へのコミュニケーション支援について、基礎知識と支援機器の操作体験をまじえた講習会です。機器の基礎的な使い方から、導入方法、入力スイッチの適合など、支援に必要な知識の伝達を行います。また、新しい視線入力機器など最新の情報も得られます。セラピストや看護師などの医療職、介護職をはじめ患者さんに関わる、あるいはこれから関わろうとする支援者の方にぜひ知っていただきたい内容です。

日 時：2018年10月28日(日) 9時00分～17時00分

参加費：1,000円（日本ALS協会会員は無料）

会 場：千代田病院・講堂（日向市）

主 催：日本ALS協会宮崎県支部



<内容>

8:30 受付開始
9:00 挨拶
9:05 <午前の部>



講師：伊藤 史人氏

- これからの支援機器（視線入力等）の紹介
- 最新スイッチ機器（筋電センサー等）の実演
- ICTを活用した重度障害者のコミュニケーションと学習の事例
- 視線入力装置によるゲームソフトの活用事例

12:00 昼食休憩（各自で準備）

13:00 <午後の部>

講師：高橋 宜盟氏

- ICTは機械ではなく機会です
- iPadでより良い暮らし・より良いコミュニケーション
- iPadのスイッチ操作やスイッチコントロールの設定や調整

16:00 <事例検討>

- 患者さんのコミュニケーション支援の状況を皆さんで考えてみましょう！

17:00 閉会終了

講師紹介

伊藤 史人（いとう ふみひと）氏

<プロフィール>

島根大学総合理工学研究科助教。
専門は福祉情報工学および医用画像処理。
重度障害者のコミュニケーション支援技術を中心に研究。視線入力訓練ソフト EyeMoT シリーズ、バリアフリーマップアプリ WheelLog!などを開発。日本賞クリエイティブフロンティア部門優秀賞など多数。

講師紹介

高橋 宜盟（たかはし よしあき）氏

<プロフィール>

一般社団法人 結ライフコミュニケーション
研究所 理事・研究員
難病や障害で、ことばでのコミュニケーションが難しい方たちと、ICTを活用し一緒に語り・考え、まろやかなコミュニケーションを深め、人と人のこころの「結」をみのらせることをめざす活動をしている。「指伝話（ゆびでんわ）」開発販売元有限会社オフィス結アジア・代表取締役。

<お問い合わせ先> 日本ALS協会宮崎県支部 事務局：井戸川智恵美
TEL：090-7448-3721
E-mail：c.idogawa.als@gmail.com